

報 館 おかだ



岡田の新しい顔です

どうぞ よろしく!



「町の活性化」と

「安心・安全な町づくり」を



田口連合町会長

田口義彦さん(岡田松岡・反目台1)は、平成元年から現住所に住まれ、松岡町会の副会長を4年、会長を2年され、今年から町会長兼務で岡田地区の連合町会長を務められることになりました。

町会長時代から気にかけてきたこととして、「少子高齢化の流れの中でいかに町を活性化するか」と、「防災、防犯の観点から安心・安全な町づくり」の2点を挙げ、これを連合町会長としてもさらに発展させていきたいとのこと。

町の活性化という点では、子どもからお年寄りまで幅広

い年齢層が参加し、楽しみながらできる町会活動(例えばゴミ拾いなど)を通して、お互いに協力し合う意識を高めたいと抱負を語られました。

また、防災については、岡田地区は消防車も入れない狭い道路が多く、道路の問題は積年の課題であり、引き続き取り組んでいきたいとのことでした。

田口さんの連合町会長としての活躍を期待するとともに、私たち一人ひとりがもっと自分達の住む町のことを知り考える必要を感じました。

「信は力なり」

「おはようございます!」

毎朝、校門に立ち児童を迎える大平亮治校長先生。元氣いっぱい挨拶をする子ども達に目を細めながら、一人ひとりの様子が分かるようにとの思いから、目をあわせ挨拶す



岡田小学校 大平亮治校長先生

るようになっています。ご出身は、下伊那郡天龍村。飯田市から単身赴任で浅間温泉に暮らし、現在55歳。中学校では技術の先生をされていたこともあり、趣味は家庭菜園と物作りだそうです。

松本への赴任は初めてで、岡田での印象をうかがうと、「学校と地域とのつながりの深さを特に感じます」と、地域の皆さんのご協力に感謝されていました。

「信は力なり」を胸に刻んで子ども達と関わり続けてこられた大平先生は、「信頼とはまず自らが相手を信頼しなければ、相手から信頼されません」と。

公民館長 富岡詔子

最後にどのような学校にしていきたいかとお聞きすると、「皆さんから信頼される学校」「安心・安全な学校」「温かい学校」の3つを目指し、地域の皆さんと一緒にそんな学校を作っていきたいと語ってくださいました。

「地域とのつながりを」

女鳥羽中学校に新任の教頭先生として津野尚彦先生が赴任されました。市内の新村ご出身で、教員歴30年、前任校は山辺中学、数学の先生です。印象に残っている生徒は?の問いには「他のことはともかく、部活に打ち込んでいた生徒」とのこと。これまで15年ほど女子バスケットの顧問をされてきました。休日も試合の付き添い等、生徒との時間を大切にされてきた様子。成人式で、部活に励んでいた生徒達の成人した姿を見られるのが楽しみとのこと。



女鳥羽中学校 津野尚彦教頭先生

女鳥羽中の生徒は「とにかく中学生らしい中学生」と好印象を持たれたようです。「先生や学校だけでなく地域とのつながりの中で、子どもたちは新しいことを学び、育っていく。そういう地域と連携した活動を広げていきたい」と抱負を語ってくださいました。

(取材 石神)



富岡公民館長(左)と 小林公民館主事(右)

公民館主事 小林 泰

岡田地区は自然に溢れていてゆとりを感じます。島内在住で、普段は芥子坊主周辺の山々を反対側から眺めておりましたので、不思議な感じがしています。

私自身公民館主事の事は初めてで、不安と戸惑いがありますが、地域づくりのお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

人物登場

一念 岩をも通す

塩倉 赤羽 雅之 さん

1ヶ月で70mを掘削し、直径40mm長さ3mのロッドを25本継ぎ足したそうです。ご趣味はとの問いに「日本海でのルアー釣りと、たまに近所の仲間と飲みに行くことかな」とにこやかに語って下さったにいます。今度は私も是非一緒にさせて下さい。

塩倉町会は限界集落であり、今回の人物選びは難航しましたが、快諾していただいたのが赤羽雅之さんでした。赤羽さんはお義父さんが設立した有限会社岡田建設鋳業を継がれて、主に防災系のボーリング調査をしていらっしやいます。建物の強度計算の参考や、地すべりの起きやすい場所を把握するための基礎調査、砂防堰堤を作るための調査等がされています。

機材を運んで櫓を組み、調査開始となります。可動部分の動力はディーゼルエンジンで、先端にダイヤモンドチップの刃をつけたロッドという管状のものを回転させつつ岩をも砕き、ロッドを継ぎ足して、ボーリングコア（土層断面を観察するための土の棒）を採集するそうです。実際に調査された最も深いものは地すべり調査で、約



赤羽 雅之さん



(取材 太田)

平成28年度

町会長・公民館専門委員の紹介

- 町会長
 - 伊深 大久保千昭
 - 岡田町 所 邦博
 - 東区 小林 修
 - 塩倉 大澤 武
 - 神沢 中條 幸雄
 - 松岡 田口 義彦
 - 山浦 市川 洋光
- 町内公民館長
 - 山浦 浅田 玉二
 - 伊深 前田 尚男
 - 岡田町 中澤 修春
 - 東区 丸山 隆康
 - 塩倉 太田 修
 - 神沢 伊藤 隆二
 - 松岡 由比ヶ浜 昇
- 文化委員
 - 山浦 浅田 玉二
 - 伊深 赤羽 淳
 - 岡田町 平林 保
- 館長推薦
 - 東区 土橋 直則
 - 塩倉 滝澤 卓雄
 - 神沢 小林 善次
 - 松岡 佐藤 公一
- 体育委員
 - 山浦 柳原 元氣
 - 伊深 横山 敏雪
 - 岡田町 奈良 誠悦
 - 東区 須澤 雅弘
 - 塩倉 赤羽 雅之
 - 神沢 小林 雅之
 - 松岡 石橋 千治
- 館報編集委員
 - 山浦 宇留賀 智
 - 伊深 松田 隆
 - 岡田町 深井 行雄
 - 東区 西村 美子
 - 塩倉 太田 圭郁
 - 神沢 伊藤 恵子
 - 松岡 平林 伸一
- 視聴覚委員
 - 山浦 西村 重雄
 - 伊深 赤羽 貴治
 - 岡田町 乾 秀樹
 - 東区 小林 秀行
 - 塩倉 百瀬 寿郎
 - 神沢 中條 喜夫
 - 松岡 立澤 牧男
- 運営委員
 - 赤羽 秀俊
 - 大平 亮治
 - 林 千代子
 - 田口 義彦
 - 佐藤 忠
 - 山本 勝宣
 - 松澤 勝子
 - 久保田 実
 - 大島 良司
 - 倉田 美智子
 - 三浦 好弘
 - 赤羽 恵子
 - 久保 愛
 - 小林 弘明
 - 富岡 弘明
 - 塩原 正秀
 - 小林 泰
- 公民館長
 - 富岡 弘明
 - 5 弘明
 - 7 弘明
- 公民館主事
 - 富岡 弘明
 - 5 弘明
 - 7 弘明
- 公民館主事
 - 富岡 弘明
 - 5 弘明
 - 7 弘明

いささか自慢話となつて恐縮だが、マツタケ採りの話を。小学5・6年の頃、親父に連れられて開放されていた財産区の山に入り、通称「マツタケのシロ」と言われている場所へ行つた。親父が、地表を指で軽く押しまわつて、土の中で眠つていマツタケを捜し出す。と言つても当時の私に採れるはずがない。そのような経験がマツタケ採りの原点となつて居るのです。

以来50数年、転勤先でも、最高ランクのもので、仕事もリタイアして早10年近く、毎年の秋の茸の季節になると、他の用事は忙しくても横に置いて、最優先にマツタケ採りとなる。昨年、一昨年の、心臓の高鳴りワクワクする高揚感を思い出し、「雨も降つて一週間から10日程過ぎた。もうポツポツ顔を出して頃だ」と朝は何とでも行く」と決めて朝飯の「むすび」を準備して早朝5時半には出発、目指す山に向かいます。全く成果の無い時もあるけど、また日を替えて登るのは、当分続きそうです。

生活雑記

マツタケ採りの想い出

伊深 大久保 千昭

